

2019. 7. 12

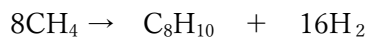
畑 啓之

川崎重工 水素技術主軸を戦略に、メタンから石油もこの一環の展開か

川崎重工は次世代エネルギーである水素に力を入れている会社である。その詳細はホームページ Kawasaki Hydrogen Road (<https://www.khi.co.jp/hydrogen/>) に示されている。

しかしながら、この新聞記事に記されている内容の技術は、このホームページの記事中にはない。

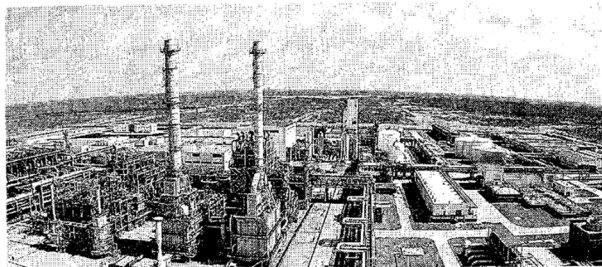
メタンから石油を作る。化学式で書くとたとえば次のようになる。



ここで水素が発生するので、戦略の範囲に入ってくるのだろう。水素はアンモニアへと変換され、さらに硫酸アンモニウムや尿素へと変換される。

新 聞 新 聞  
2019年(令和元年)7月12日 金曜日

## 川重、世界最大プラント トルクメニスタンで稼働



トルクメニスタンで稼働した世界最大のガソリン製造プラント  
(川崎重工業提供)

天然ガスから環境に優しいガソリン

川崎重工業(神戸市中央区)は、中央アジアのトルクメニスタンで、天然ガスを原料とする世界最大のガソリン製造プラントが完成し、稼働を始めたこと発表した。トルコの建設会社との共同事業で、1500億円で受注していた。

プラントは同国の首都アシガバート市に建設。天然ガスを原料に、年間60万トンのガソリンを製造できる。製造したガソリンは硫黄などの不純物が少なく、重金

属を含まないため燃焼時に有害物質を出さないなど環境に優しいという。川重はプロジェクト全体を統括し、神戸工場(神戸市中央区)で設計した。

同国は世界4位の天然ガス埋蔵量を誇り、近年は輸出に加え、天然ガスの付加価値を高めた製品の製造に力を入れているという。川重は同国最大の肥料製造プラントも建設しており、今後さらなる受注を目指す。

(横田良平)